

小学校体育科 学習評価と評価規準例

(内容のまとまりごと)

第5学年

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」を基に作成)

学習評価の基本的な考え方

◆学習評価について指摘されている課題

- ・学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、評価の結果が児童生徒の具体的な学習改善につながっていない。
- ・現行の「関心・意欲・態度」の観点について、挙手の回数や毎時間ノートをとっているかなど、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉える評価であるような誤解が払拭しきれていない。
- ・教師によって評価の方針が異なり、学習改善につなげにくい。
- ・教師が評価のための「記録」に労力を割かれて、指導に注力できない。
- ・相当な労力をかけて記述した指導要録が、次の学年や学校段階において十分に活用されていない。

◆学習評価の改善の基本的な方向性

次の基本的な考え方に立って、学習評価を真に意味のあるものとすることが重要であること。

- 【1】児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと。
- 【2】教師の指導改善につながるものにしていくこと。
- 【3】これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと。

（「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」より抜粋）

学習評価の主な改善点

学習指導要領において、各教科等の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理したことを踏まえ、これらの資質・能力に関わる

- ・「知識・技能」
- ・「思考・判断・表現」
- ・「主体的に学習に取り組む態度」

の3観点に整理して示されている。（図1）

◎「学びに向かう力、人間性等」について

- ・「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分
- ・観点別学習状況の評価にはなじまず、個人内評価等を通じて見取る部分（感性、思いやりなど）

があることに留意する必要があることが明確にされている。

（図2）

また、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価することとされている。

図1 観点別学習状況の評価の観点

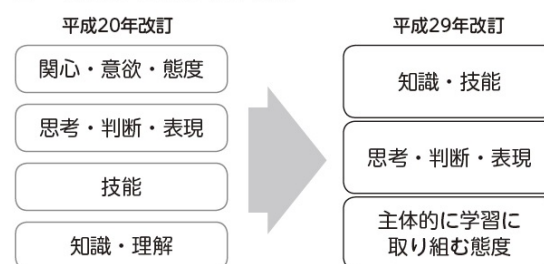
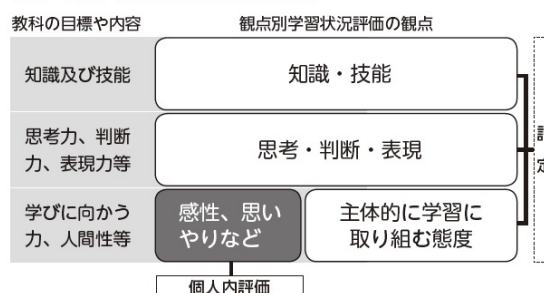


図2 各教科における評価の基本構造



（図1、2とも「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」より作成）

内容のまとまりごとの評価規準の考え方

◆学習指導要領の「第2 各学年の目標及び内容 2 内容」と評価規準の関係

- ・学習指導要領の改訂において、「第2 各学年の目標及び内容 2 内容」は、資質・能力の三つの柱に基づいて構造化が行われており、この記載がそのまま学習指導の目標となりうるものと考えられることができる。
- ・児童が資質・能力を身に付けた状態を評価すると考えると、「2 内容」に書かれた「～すること」を「～している」等に変換することで、内容のまとまりごとの評価規準として示すことができる。

次に、「教科の目標と評価の観点及びその趣旨」「学年の目標と学年・分野別の評価の観点の趣旨」「内容のまとまりごとの評価規準例」を示している。

第5学年

教科の目標と評価の観点及びその趣旨

◆小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第1 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

(小学校学習指導要領 p. 142)

◆改善等通知 別紙4 体育・保健体育(1) 評価の観点及びその趣旨 〈小学校 体育〉

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の行い方について理解しているとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。また、身近な生活における健康・安全について実践的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己の運動の課題を見付け、その解決のための活動を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、身近な生活における健康に関する課題を見付け、その解決を目指して思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動に進んで取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自己の健康の保持増進についての学習に進んで取り組もうとしている。

(小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知) 別紙4 p. 19)

学年の目標と評価の観点及びその趣旨

◆小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育「第2節 各学年の目標及び内容」

〔第5学年及び第6学年〕 1 目標

(1)	(2)	(3)
各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。	自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

(小学校学習指導要領 p. 142)

◆改善等通知 別紙4 体育・保健体育(2) 学年・分野別の評価の観点を趣旨

〈小学校 体育〉第5学年及び第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の行い方について理解しているとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、心の健康やけがの防止、病気の予防について理解しているとともに、健康で安全な生活を営むための技能を身に付けている。	自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。また、身近な健康に関する課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、各種の運動に積極的に取り組もうとしている。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復についての学習に進んで取り組もうとしている。

(小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知) 別紙4 p. 19)

第5学年 A 体づくり運動

◆学習指導要領 2 内容

体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び運動	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすること。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりすること。</p> <p>イ 体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすること。</p>	<p>(2) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。</p>



◆「内容のまとめりとごとの評価規準」例

知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解<u>している</u>とともに、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたり<u>している</u>。</p> <p>・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったり<u>している</u>。</p> <p>・体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を<u>している</u>。</p>	<p>自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫<u>している</u>とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝<u>えている</u>。</p>	<p>運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動を<u>しよう</u>としたり、仲間の考えや取組を認め<u>よう</u>としたり、場や用具の安全に気を配ったり<u>している</u>。</p>

第5学年 B 器械運動

◆学習指導要領 2 内容

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身に付けること。</p> <p>ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。</p> <p>イ 鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。</p> <p>ウ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。</p>	<p>(2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすること。</p>



◆「内容のまとめりとごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解していると<u>ともに、その技を身に付けている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたり<u>している。</u> ・鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたり<u>している。</u> ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり<u>している。</u> 	<p>自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫<u>している</u>とともに、自己や仲間の考えたことを他者に<u>伝えている。</u></p>	<p>運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動を<u>しよう</u>としたり、仲間の考えや取組を認め<u>よう</u>としたり、場や器械・器具の安全に気を配ったり<u>している。</u></p>

第5学年 C 陸上運動

◆学習指導要領 2 内容

陸上運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。</p> <p>ア 短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。</p> <p>イ ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること。</p> <p>ウ 走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。</p> <p>エ 走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。</p>	<p>(2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。</p>



◆「内容のまとめりごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解<u>している</u>とともに、その技能を身に付けて<u>いる</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しを<u>したりしている</u>。 ・ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越<u>えている</u>。 ・走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切<u>って跳んでいる</u>。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切<u>って跳んでいる</u>。 	<p>自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫<u>している</u>とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝<u>えている</u>。</p>	<p>運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合<u>って運動をし</u>よう<u>とし</u>たり、勝敗を受け入<u>れよう</u>としたり、仲間の考えや取組を認め<u>よう</u>としたり、場や用具の安全に気を配<u>っている</u>。</p>

第5学年 D 水泳運動

◆学習指導要領 2 内容

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。 ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。	(2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。



◆「内容のまとめりとごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解 <u>している</u> とともに、その技能を身に付けて <u>いる</u> 。 ・クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳 <u>いでいる</u> 。 ・平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳 <u>いでいる</u> 。 ・安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮 <u>いている</u> 。	自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫 <u>している</u> とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝 <u>えている</u> 。	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動を <u>しよう</u> としたり、仲間の考えや取組を認め <u>よう</u> としたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったり <u>している</u> 。

第5学年 E ボール運動

◆学習指導要領 2 内容

ボール運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付け、簡易化されたゲームをすること。</p> <p>ア ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。</p> <p>イ ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすること。</p> <p>ウ ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすること。</p>	<p>(2) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>(3) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。</p>



◆「内容のまとめりとごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解<u>している</u>とともに、その技能を身に付け、簡易化されたゲームを<u>している</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームを<u>している</u>。 ・ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームを<u>している</u>。 ・ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームを<u>している</u>。 	<p>ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだり<u>している</u>とともに、自己や仲間の考えたことを他者に<u>伝えている</u>。</p>	<p>運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動を<u>しよう</u>としたり、勝敗を受け入れ<u>よう</u>としたり、仲間の考えや取組を認め<u>よう</u>としたり、場や用具の安全に気を配ったり<u>している</u>。</p>

第5学年 F 表現運動

◆学習指導要領 2 内容

表現運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，表したい感じを表現したり踊りで交流したりすること。</p> <p>ア 表現では，いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり，簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。</p> <p>イ フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。</p>	<p>(2) 自己やグループの課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>(3) 運動に積極的に取り組み，互いのよさを認め合い助け合って踊ったり，場の安全に気を配ったりすること。</p>



◆「内容のまとまりごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>次の運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解しているとともに，表したい感じを表現したり踊りで交流したりしている。</p> <p>・表現では，いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり，簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりしている。</p> <p>・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊っている。</p>	<p>自己やグループの課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>運動に積極的に取り組み，互いのよさを認め合い助け合って踊ろうとしたり，場の安全に気を配ったりしている。</p>

第5学年 G 保健(1) 心の健康

◆学習指導要領 2 内容

心の健康について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。</p> <p>(ア) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。</p> <p>(イ) 心と体には、密接な関係があること。</p> <p>(ウ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。</p>	<p>イ 心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。</p>	<p>※学年の目標(3)を参考にする。</p> <p>健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。</p>



◆「内容のまとめりとごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを<u>理解している</u>。 心と体には、密接な関係があることを<u>理解している</u>。 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを<u>理解している</u>とともに、<u>技能を身に付けている</u>。 	<p>心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現<u>している</u>。</p>	<p>健康・安全の大切さに気付き、心の健康についての学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>※学年・分野別の評価の観点の趣旨を参考にして作成する。</p>

第5学年 G 保健（2）けがの防止

◆学習指導要領 2 内容

けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
<p>ア ケがの防止について理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。</p> <p>（ア）交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。</p> <p>（イ）けがなどの簡単な手当は，速やかに行う必要があること。</p>	<p>イ ケがを防止するために，危険の予測や回避の方法を考え，それらを表現すること。</p>	<p>※学年の目標（3）を参考にする。</p> <p>健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。</p>



◆「内容のまとめりとごとの評価規準」例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であることを<u>理解している</u>。</p> <p>・けがなどの簡単な手当は，速やかに行う必要があることを<u>理解している</u>とともに，技能を身に付けている。</p>	<p>・けがを防止するために，危険の予測や回避の方法を考<u>えている</u>とともに，それらを表現<u>している</u>。</p>	<p>健康・安全の大切さに気付き，けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>※学年・分野別の評価の観点の趣旨を参考にして作成する。</p>